

課 程 等		ディプロマ・ポリシー
工 芸 学 部		<p>工芸科学部では、以下に掲げる「工織コンピテンシー」(本学卒業生として有すべき能力)および各課程のディプロマ・ポリシーに則った知識と能力、実践力、グローバルな視野とリーダーシップを備えた学生を、国際的に活躍できる理工科系高度専門技術者(TECH LEADER)となりうる人材と認め、「学士(工学)」(応用生物学課程においては「学士(農学)」)の学位を授与します。なお、卒業認定を受けようとする学生は、本学通則および工芸科学部履修規則に定められた修業年数以上在学し、卒業要件となる単位を修得していなければなりません。</p> <p>学部 ディプロマ・ポリシー(工織コンピテンシー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 専門性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの学習領域においての高度な専門知識・技術を有している。 ・ 新しい技術を国内外から学び、改善・発展する能力を有している。 ■ リーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様性の中でビジョンを掲げ他者を巻き込みながら目的を達成する能力を有している。 ・ 強い自己肯定感を持ち、新たな環境下で忍耐力をもって、チャレンジし、チームを課題解決に導く能力を有している。 ・ 言語・文化・習慣など価値観の異なる多様な人々と、建設的な議論と他者支援を行い、成果へと導く能力を有している。 ・ 課題の本質を見極め、その解決に向けた計画を立案し、論理性を持った説明により、他者の理解を得て、実行する能力を有している。 ・ 社会の情勢や時代の潮流を見極め、経営マインドをもって物事にチャレンジする能力を有している。 ■ 外国語運用能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 母国語以外の外国語で社会生活での話題について会話をを行い、表現をする能力を有している。 ・ 海外から多様な情報や先端技術を自ら収集するとともに、習得した専門知識・技術について外国語で論述できる能力を有している。 ■ 文化的アイデンティティ <ul style="list-style-type: none"> ・ 生まれ育った国や地域の伝統文化・習慣や歴史、宗教等についての知識を有している。 ・ 言語や文化習慣、宗教など価値観の違いを柔軟に受け入れて円滑にコミュニケーションができる。
生 命 物 質 科 学 域	応 用 生 物 学 課 程	<p>応用生物学課程では、生物学と生化学に根ざした多面的・先端的手法によって動物・植物・微生物など様々な生物を解析することができ、人間生活の健全で持続的な発展に寄与できる次世代型ゼネラル・バイオテクノロジストの素養を身につけていることが認められれば、学士(農学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物(動物、植物、微生物)のしくみを理解している。 2. 生物の構成要素(タンパク質、核酸、脂質、糖)を理解している。 3. 生物の構造変化(発生、老化)や物質変化(代謝)を理解している。 4. さまざまな先端バイオテクノロジー(遺伝子操作、細胞培養、顕微鏡等のナノテクノロジーなど)を修得している。 5. 生命現象に関する新たな知見に対応し、応用できる能力を修得している。 <p>となります。これらが満たされているかは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)と卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	生 体 分 子 応 用 化 学 課 程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、生体分子応用化学課程では、人間的に広く深い素養と自覚を持ち、その上で生体関連物質の化学と工学に関する十分な基礎知識と应用能力を身につけ、将来の地球環境、国際社会、地域産業に貢献できる人材としての素養を有していることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学の基礎知識を身につけている。 2. 生体関連物質の化学と工学に関する十分な基礎知識を身につけている。 3. 生体関連物質の化学と工学に関する应用能力を身につけている。 4. 将来の地球環境、国際社会、地域産業に対応できる人間的に広く深い素養と自覚を身につけている。 <p>となります。これらは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たし、卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	高 分 子 機 能 工 学 課 程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、高分子機能工学課程では、自然科学の基礎知識、および機能性物質や高分子機能工学、高分子機能科学に関する十分な基礎知識を基に、将来の技術革新に対応できるような基礎知識とその应用能力を身につけ、さらに人間的に広く深い素養と自覚を身につけ、地域貢献並びに国際的に通用する人材としての素養を有していることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学の基礎知識に加えて、機能性物質や高分子機能工学および高分子機能科学に関する十分な基礎・専門知識を身につけている。 2. 卒業研究又は卒業プロジェクトを通じて、将来の技術革新に対応できるような基礎・専門知識とその应用能力を身につけている。 3. 地域貢献並びに国際的に通用する、人間的に広く深い素養と自覚を身につけている。 <p>となります。これらは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たし、卒業研究又は卒業プロジェクトの成果によって判定されます。</p>
	物 質 工 学 課 程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、物質工学課程では、物質開発に関して十分な基礎知識と应用能力を身につけ、地球環境や人類社会と調和した科学・技術の発展に貢献できる人材としての素養を有していることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然科学の基礎知識を身につけ、物理化学、有機化学、無機化学などの化学の基礎と専門知識を十分に身につけている。 2. 分子物質工学分野、材料物質工学分野の基礎・専門知識とその应用能力を身につけている。 3. 地球環境や人類社会と調和した科学・技術の発展に貢献できる人間的に広く深い素養と自覚を身につけている。 4. 国際的な感性やコミュニケーション能力を身につけると同時に、地球上の諸国・諸地域の独自性に対応できる共通語としての科学的素養と見識を身につけている。 <p>となります。これらは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たし、卒業研究の成果によって判定されます。</p>

設 計 工 学 域	電子システム工学課程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、電子システム工学課程では、電子システム工学分野に関する幅広い知識と技術に基づいた高度な専門性を身につけ、当該分野にブレークスルーをもたらさう課題解決能力と課題探求能力に優れており、かつ、豊かな創造性と柔軟な思考力を備えた国際性のある人材としての素養を備えていることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>これらは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たしていることと、卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	情報工学課程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、情報工学課程では、製造・経済・知的生産活動、あるいは個人や組織の活動など、国内外における社会のあらゆる場面を支えているICTの最新技術を理論と実践の両面からバランスよく修得し、国内外で活躍できる技術者としての素養を身に付けていることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>修得する具体的事項を以下に示します。</p> <p>(1) エンジニアリングデザイン能力:限られた人的、物的、時間的資源の制約の下で、社会の要求を解決するために、リーダーシップを持って他者と協働し新しいシステムを創出できる。</p> <p>(2) 専門知識と応用力:コンピュータ科学(GS)およびコンピュータ工学(CE)分野の専門知識をもち、それに基づいてハードやソフトを分析、構築することができる。</p> <p>(3) コミュニケーション能力:国内外の異なる文化や技術を持つ人々との共同作業のため、文化や背景の異なる他人や組織を相手として、論理的な文章の記述、口頭発表、討論ができる。</p> <p>(4) 学習習慣と情報収集・分析力:技術の爆発的進歩、変化への対応のため、さらにそれらによる将来の社会変化に適応できるため、継続的な学習習慣を持ち、ICTを活用した効率的な情報収集や情報分析を行うことができる。</p> <p>(5) 技術者教養・倫理:日本および諸外国の文化理解に基づいて、技術者の社会的責任を認識し、倫理的に行動できる。</p> <p>これらは、課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たしていることと、卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	機械工学課程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、機械工学課程では、幅広い基礎的知識の上に立った高度な専門性と豊かな創造力を持ち、さらに技術が普遍性を有するかどうかを的確に判断でき、しかも科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向をいち早く正確に把握することのできる優れた先見性、地球的視野に立った行動力、豊かな人間尊重の精神を備えた国際性のある人材としての素養を身に付けていることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>学位授与の可否は、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たしているかどうかと、卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	デザイン経営工学課程	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、デザイン経営工学課程では、経営、デザイン、工学という人間活動の3つの主要分野を有機的に結びつけることによって、地球環境や社会と調和のとれた「人工物」を創り出す力を有し、地域を含む社会の創生に貢献するものづくりやビジネスをデザイン(企画)し、実行に移すことができるリーダーシップを発揮でき、広い視野にたつてあらゆることをプロデュースできる人材としての素養を有していることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスマインドや工学的基礎知識をもった広義のデザイナーとしての素養を身につけている。 2. デザインマインドやビジネスマインドをもった技術者・研究者としての素養を身につけている。 3. デザインマインド、工学的知能をもった経営企画者や製品企画者としての素養を身につけている。 <p>となります。製造業だけでなく情報産業や行政機関などあらゆる分野で活躍できる能力を備えた人材です。これらは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)を満たし、卒業研究の成果によって判定されます。</p>
	造 形 科 学 域	デザイン・建築学課程